

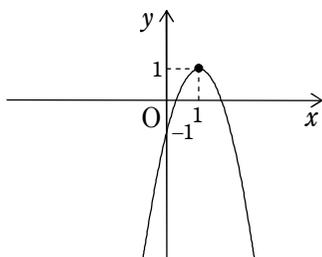
# 中3数学D 宿題解答 1学期-7

## 宿題 7-1

- (1)  $y = -2x^2 + 4x - 1$   
 のグラフの  $y$  切片は  $-1$ .  
 平方完成すると,

$$\begin{aligned} y &= -2\left(x^2 - 2x + \frac{1}{2}\right) \\ &= -2\left\{(x-1)^2 - 1 + \frac{1}{2}\right\} \\ &= -2\left\{(x-1)^2 - \frac{1}{2}\right\} \\ &= -2(x-1)^2 + 1 \end{aligned}$$

なので、このグラフは、 $y = -2x^2$  のグラフを、点(1,1)が頂点となるように平行移動したもの。  
 したがって、下図のよう。

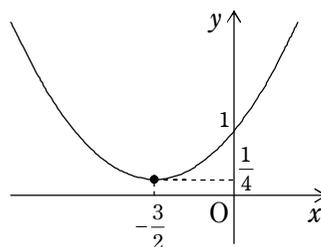


- (2)  $y = \frac{1}{3}x^2 + x + 1$

のグラフの  $y$  切片は  $1$ .  
 平方完成すると,

$$\begin{aligned} y &= \frac{1}{3}(x^2 + 3x + 3) \\ &= \frac{1}{3}\left\{\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 - \frac{9}{4} + 3\right\} \\ &= \frac{1}{3}\left\{\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{3}{4}\right\} \\ &= \frac{1}{3}\left(x + \frac{3}{2}\right)^2 + \frac{1}{4} \end{aligned}$$

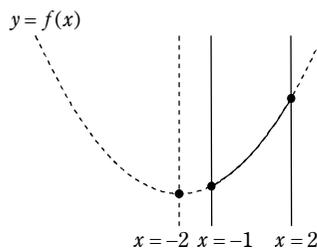
なので、このグラフは、 $y = \frac{1}{3}x^2$  のグラフを、点 $\left(-\frac{3}{2}, \frac{1}{4}\right)$ が頂点となるように平行移動したもの。  
 したがって、下図のよう。



## 宿題 7-2

- (1)  $f(x) = x^2 + 4x + 3$   
 $= (x+2)^2 - 4 + 3$   
 $= (x+2)^2 - 1$

なので、 $y = f(x)$  のグラフは、 $y = x^2$  のグラフを平行移動した放物線で、頂点の座標は  $(-2, -1)$ .



上図より、 $-1 \leq x \leq 2$  における  $y = f(x)$  の最大値は

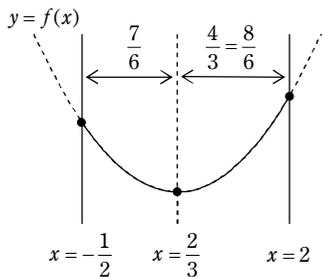
$$x = \boxed{2} \text{ のときの } f(2) = 4 + 8 + 3 = \boxed{15}$$

最小値は

$$x = \boxed{-1} \text{ のときの } f(-1) = 1 - 4 + 3 = \boxed{0}$$

$$\begin{aligned}
 (2) \quad f(x) &= 3x^2 - 4x + 1 \\
 &= 3\left(x^2 - \frac{4}{3}x + \frac{1}{3}\right) \\
 &= 3\left\{\left(x - \frac{2}{3}\right)^2 - \frac{4}{9} + \frac{1}{3}\right\} \\
 &= 3\left\{\left(x - \frac{2}{3}\right)^2 - \frac{1}{9}\right\} \\
 &= 3\left(x - \frac{2}{3}\right)^2 - \frac{1}{3}
 \end{aligned}$$

なので、 $y = f(x)$  のグラフは、 $y = 3x^2$  のグラフを平行移動した放物線で、頂点の座標は  $\left(\frac{2}{3}, -\frac{1}{3}\right)$ 。



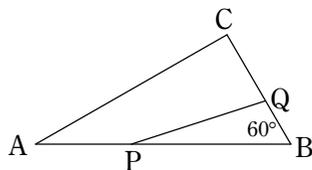
したがって、上図より、 $-\frac{1}{2} \leq x \leq 2$  における  $y = f(x)$  の最大値は

$$x = \boxed{2} \text{ のときの } f(2) = 12 - 8 + 1 = \boxed{5}$$

最小値は

$$x = \boxed{\frac{2}{3}} \text{ のときの } f\left(\frac{2}{3}\right) = \boxed{-\frac{1}{3}}$$

### 宿題 7-3



(1)  $PB = \boxed{2-2x}$ ,  $BQ = \boxed{x}$

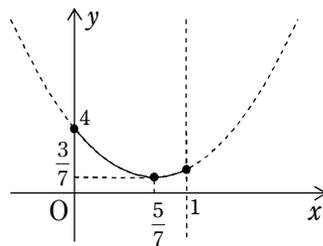
(2) 三角形 PBQ において、余弦定理より、

$$\begin{aligned}
 PQ^2 &= PB^2 + BQ^2 - 2 \times PB \times BQ \times \cos 60^\circ \\
 &= (2-2x)^2 + x^2 - 2(2-2x)x \times \frac{1}{2} \\
 &= 4 - 8x + 4x^2 + x^2 - 2x + 2x^2 \\
 &= \boxed{7x^2 - 10x + 4}
 \end{aligned}$$

(3) PQ が最小になるのは、 $PQ^2$  が最小になるときであるから、 $PQ^2 = 7x^2 - 10x + 4$  の  $0 \leq x \leq 1$  における最小値を求める。

$$\begin{aligned}
 PQ^2 &= 7\left(x^2 - \frac{10}{7}x + \frac{4}{7}\right) \\
 &= 7\left\{\left(x - \frac{5}{7}\right)^2 - \frac{25}{49} + \frac{4}{7}\right\} \\
 &= 7\left\{\left(x - \frac{5}{7}\right)^2 + \frac{3}{49}\right\} \\
 &= 7\left(x - \frac{5}{7}\right)^2 + \frac{3}{7}
 \end{aligned}$$

より、 $y = PQ^2$  のグラフは下図のようになる。



したがって、 $PQ^2$  の最小値は、 $x = \frac{5}{7}$  のときの  $\frac{3}{7}$  であり、このとき PQ は最小値

$$\sqrt{\frac{3}{7}} = \boxed{\frac{\sqrt{21}}{7}}$$

となる。

### 宿題 7-4

(1) 交点の  $x$  座標は

$$x^2 = -2x + 5$$

の解であるので、

$$x^2 + 2x + 1 = 6$$

$$(x+1)^2 = 6$$

$$x+1 = \sqrt{6}, -\sqrt{6}$$

$$\therefore x = \sqrt{6} - 1, -\sqrt{6} - 1$$

$y$  座標は、 $l$  の式で計算すると、

$$x = \sqrt{6} - 1 \text{ のとき}$$

$$y = -2(\sqrt{6} - 1) + 5 = -2\sqrt{6} + 7$$

$$x = -\sqrt{6} - 1 \text{ のとき}$$

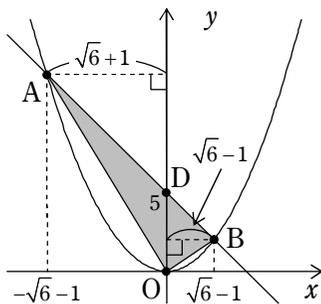
$$y = -2(-\sqrt{6} - 1) + 5 = 2\sqrt{6} + 7$$

よって、交点 A, B の座標は

$$A(-\sqrt{6} - 1, 2\sqrt{6} + 7)$$

$$B(\sqrt{6} - 1, -2\sqrt{6} + 7)$$

(2)  $l$  と  $y$  軸の交点を D とおく.



三角形 OAB を三角形 OAD と三角形 OBD に分割し、それぞれの面積を、OD を底辺として計算すれば、

$$\underbrace{\frac{1}{2} \times (\sqrt{6} + 1) \times 5}_{\triangle OAD} + \underbrace{\frac{1}{2} \times (\sqrt{6} - 1) \times 5}_{\triangle OBD}$$

$$= \frac{1}{2} \times \underbrace{(\sqrt{6} + 1 + \sqrt{6} - 1)}_{2\sqrt{6}} \times 5$$

$$= \boxed{5\sqrt{6}}$$

### 宿題 7-5

(1) チョコレートの分け方は

10 個の  $\bigcirc$  と 3 本の  $|$  を並べる並べ方に対応するので (宿題 4-5),

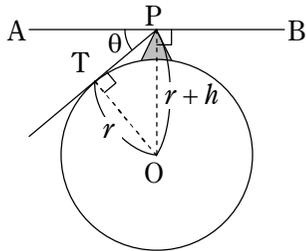
$${}_{13}C_3 = \frac{13 \times 12 \times 11}{3 \times 2 \times 1} = \boxed{286}$$

(2) 10 個のチョコレートを 1 つずつ、A, B, C, D の誰に分けるかを決めていけば、チョコレートの分け方が決まるので、

$$\underbrace{4 \times 4 \times \dots \times 4}_{10} = \boxed{4^{10}} (= 1048576)$$

**宿題 7-6**

下図のように O, P, T, A, B を取る.



水平方向 AB は鉛直方向 OP と直交しており、  
また、地平線方向 PT は大円 O に T で接している  
ので、 $\angle PTO = 90^\circ$  である。

したがって、

$$\begin{aligned} \angle POT &= 180^\circ - \angle PTO - \angle OPT \\ &= 180^\circ - 90^\circ - (90^\circ - \theta) \\ &= \theta \end{aligned}$$

である。

(1) 直角三角形 POT において、

$$TO = PO \times \cos \angle POT$$

であるから、

$$r = (r+h) \cos \theta$$

$$\therefore r = \boxed{\frac{\cos \theta}{1 - \cos \theta} h}$$

(2) 三角比の表より、 $\cos 1^\circ = 0.9998$  なので、

$$\begin{aligned} r &= \frac{\cos 1^\circ}{1 - \cos 1^\circ} \times 1275 \\ &= \frac{0.9998}{1 - 0.9998} \times 1275 \\ &= 4999 \times 1275 \\ &= 6373725 \text{ [m]} \\ &= 6373.725 \text{ [km]} \end{aligned}$$

であるから、 $\boxed{6374 \text{ [km]}}$